



平成30年7月1日現在

人口	14,178人
男性	6,871人
女性	7,307人
世帯数	6,552戸

南浅間町会

南浅間は昭和五十一年地籍名「字」の変更が行われ今年で四十一年、昭和二十四年の本郷村大字大から数えて六十九年の歳月が流れた。新興住宅地として世帯、人口共に増加して来た。平成二年四十周年を記念し公民館前に花壇を作り、双体道祖神を建立守護している。又

わがまち わが町会



第2 横田町会

町会では、毎年二月と十月に公民館主催の「味噌づくり講習会」が行われています。講師の方々のご尽力により、材料の大豆、米麴、塩はすべて国産品を使用し、保存料は無添加で美味しく安心して食べられるとあつて毎年好評です。参加者は、小さなお子さんからお年寄りの方まで幅広い年齢層の方々が参加しており、

南浅間の松寿会(老人クラブ)は役員、先輩



約半年後に食卓に上がるのを楽しみに待ちます。

以前は多くの家で味噌焼きをしたものですが、今はその習慣もほとんど無くなってしまいました。日本古来の発酵食品である味噌は、松本に由来があるとの事ですので、これからも美味しい味噌づくりをずっと続けていきたいものです。



「ツール・ド・美ヶ原」開催される！

ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会が7月1日行われました。12歳から85歳までの1516人が全国から集まり、標高差1270メートル、全長21.6キロメートル、平均勾配5.9%の全国でも過酷といわれる登坂レースに挑戦しました。チャンピオンは松本市野球場前から天狗の露路まで約一時間でゴールしました。

さて、このツール・ド・美ヶ原。自然豊かな美ヶ原高原を国内外からの来訪者に感じてもらうとともに、松本や浅間温泉地域の情報発信を目的として開催され今年で19回目を迎えました。レースを支えているのは地元企業と総勢400人のボランティア。給水や炊き出し、交通整理や走行路の美化、ゴミの後片付けまで多岐にわたり大会を支えています。最高気温33.5度のなか、笑顔は絶やさずテキパキと働く姿は印象的でした。



続々とゴールへ駆け込む



盛り上がる表彰式



変わり種自転車も挑戦



緊張のスタート

6/17 三才山町会 マレットゴルフ大会

美鈴湖もりの国において、三才山地区のマレットゴルフ大会が開催されました。天気にも恵まれ参加者は気持ちの良い汗を流しました。マレットゴルフの後には三才山公民館で表彰式&懇親会が行われました。



6/3 御殿山 親子ウォーキング

本郷地区子ども会育成会と本郷公民館共催。初夏の天候に恵まれ、4組の親子、大人4名、子供5名、同行者5名にて浅間温泉の史跡等、館長の説明を受けながら見晴台を目指しました。又、松枯、倒木など多くの自然の現実を目の当たりにいたしました。



御殿山登山口にて

浅間児童センター
開館記念餅つき会



浅間児童センターは、昭和四十七年五月に開館し、四十六年の歴史を刻んできています。開館当時は合併前の本郷村時代。以後、多くの地域の皆様方のお力に支えられ歩みを進めてまいりました。今年は五月二十六日に恒例の餅つき会を開催し、「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声に合わせて、元気に餅をつく多くの子どもの姿や笑顔があふれました。

会食会では、できたてのきなこ餅や黒ごま餅をおいしくいただきました。

会食会後の、センターの子どもたちの詩吟や歌（世界に一つだけの花・本郷小学校校歌）の発表に心が和みました。

浅間温泉手しごと市
7/7
7/8



第17回松本浅間温泉手しごと市とふれあい音楽会は7月7日～8日まで、浅間温泉広場で、「手から手へ、作る人から使う人へ、繋がる、モノとココロの楽しい出会い」をコンセプトに開催されました。会場では気に入った物を探す人、音楽を楽しむ人、飲食コーナーで楽しい2日間でした。

人権啓発推進協議会
7/5



本郷地区人権啓発推進協議会総会並びに出井博文弁護士よりハラスメントに対する意識、原因、対策についてのご講演をいただき、日々の暮らしを見直す視点を与えてもらえました。

わらび狩り講座
6/12



「親子でホタルを見よう」の会の説明を聞き、30名を超える参加者の皆さんが幻想的に舞うホタルを楽しみました。

小谷村の牧場跡地で、雨の中での講座となりましたが、多い人で2キロ以上の収穫。その後温泉と食事を楽しみ、10名の参加者は充実した一日を過ごしました。

公民館講座
防災講座(第二回)
6/10

本郷公民館では、防災と科学について学ぶ講演会を五回シリーズで予定しています。その第一回目を松本市危機管理課の職員をお招きし開催しました。

●一番大切なもの
講演は、一番大切なもの、たった一つの「命」を守りましょう！をテーマに行われました。

●日常の取組み
家庭内事故を防ぐために、身の回りの整理・整頓など出来ることから始める活動が大切であり、また、みんなの安心と元気を支えるために、日々の健康管理を続けることが重要です。

●知ろう 役立てよう
講演概要は次のとおりです。

- ①揺れやすさマップによれば、本郷地区は地震の際に揺れやすい地域であること。
- ②非常持ち出し袋には大事なものの（眼鏡、薬など）を入れておくこと。
- ③避難所にはいくつかの形態があるが、運営の主体は住民であること。（参考…「福祉避難所」は一般の指定避難所で生活を続けることが困難な方が対象。本郷地区内には指定箇所なし。）
- ④市は空振りしても避難勧告を発表する方針であること。